

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
19	臨床医学概論 (病態解析部門)	No. 1 2 枚		

以下の記述について、正しいものには (○)、誤りには (×) を下の解答欄に記入しなさい。

- 問1 cyclooxygenase (COX)-2 inhibitor は、消化管傷害が少なく、NSAIDs に代わって広く用いられるようになった。
- 問2 disease-modifying antirheumatic drugs (DMARDs) による関節リウマチの治療では、腎合併症が多いのが問題である。
- 問3 呼吸器疾患治療における home oxygen therapy (HOT) では、O₂ enricher を用いる場合もある。
- 問4 睡眠時無呼吸症候群は、やせた人に好発する。
- 問5 Helicobacter pylori (Hp) 除菌後には胃癌の発生は完全に抑制される。
- 問6 proton pump inhibitor (PPI) を Hp 陽性者に投与すると、胃粘膜萎縮がおこることが懸念されている。
- 問7 高血圧治療薬のうち、angiotensin II receptor blocker (ARB) と angiotensin-converting enzyme inhibitor (ACEI) では、ARB が最近開発され、薬価は高い。
- 問8 β-blocker は、喘息患者には禁忌である。
- 問9 肝炎患者の内視鏡消毒薬は、グルタールアルデヒドがよく用いられる。
- 問10 大腸ガン予防に NSAIDs が有効であるとする報告が多数認められるが、その機序としては、血管新生抑制が考えられている。
- 問11 Helicobacter pylori (Hp) 感染に強い関係あるとされるのは、胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌であり、肉腫には関係しない。
- 問12 Hp 感染には、特発性血小板減少性紫斑病との関連も指摘され、除菌が有効な例もある。
- 問13 Hp の除菌後の問題として、逆流性食道炎の増加があるが、最近は否定的な報告が多い。
- 問14 大腸ポリープのうち、大腸癌に関連性が高いのは、腺腫性ポリープである。
- 問15 過誤腫性ポリポーシスである Peutz-Jeghers 症候群でも、癌が頻発する。
- 問16 もやもや病は、高齢者に発生する脳血管障害である。

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
19	臨床医学概論 (病態解析部門)	No. 2 2枚		

- 問 17 脳ドックは、computed tomography (CT) による脳梗塞の発見をめざしている。
- 問 18 脳ヘルニア防止は、脳出血の治療の際の目標になる。
- 問 19 錐体路障害では、運動神経障害が発生する。
- 問 20 統合失調症とは、昔の精神分裂病のことである。
- 問 21 鎖骨下動脈盗血症候群では、上肢を動かすと意識障害がおこる。
- 問 22 筋萎縮性側索硬化症は、筋肉自体の病気である。
- 問 23 若い女性の鉄欠乏性貧血は、消化管出血によるものが多い。
- 問 24 悪性貧血は、葉酸欠乏によりもたらされる。
- 問 25 多発性骨髄腫は、若年層に多発する疾患である。
- 問 26 静注用鉄剤使用時には、ショックなどの副作用に注意する必要がある。
- 問 27 再生不良性貧血のなかには肝障害に併発するものもある。
- 問 28 ドライタップは、骨髄腫に特徴的である。
- 問 29 慢性リンパ性白血病の治療では、早期に化学療法を開始する必要がある。
- 問 30 痛風発作の治療薬は、以前はコルヒチンだったが、現在は、NSAIDs を用いることが多い。

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
問 21	問 22	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30

採点		[]
----	--	-----